



野球部の捕手として闘志を燃やしていた健太さんのようにガッツポーズする田村さん夫妻 (中央) と野球部員。健太さんがつないだ縁だ

# 「健太の魂を受け取って」

津波で長男亡くした  
松山の田村さん夫妻 応援旗と絵本寄贈

東日本大震災の津波で長男健太さん (当時25歳) を亡くした大崎市松山の田村孝行さん (63)、弘美さん (61) 夫妻は4月30日、健太さんの母校古川高に自作絵本「ふしぎな光のしずく〜けんたとの約束〜」3冊と、野球部応援旗を寄贈した。

## 野球部で活躍 母校古川高へ

健太さんは震災当 震災を伝えることも 孝行さんは野球部員 時、七十七銀行女川支 店に勤務。大津波警報 が発令される中、支店 長の指示で2階建ての 屋上に避難したが、行 員12人が犠牲になっ た。健太さんは半年後 に見つかったものの、 現在も8人が行方不明 になっっている。

絵本は、次の世代に 渡す。 絵本は、次の世代に 渡す。 絵本は、次の世代に 渡す。

らに温かく、熱を込め て語った。



孝行さんも1979 (昭和54) 年卒の同校 O.B. 「不屈不撓」 「魂雪蛍」と書かれた応援 旗の寄贈者名に健太 さんと孝行さん親子の 名を併記した。「不撓 不屈は私の好きな言 葉。健太の魂を受け取 った氏家主将は「本を 読ませてもらったが、 両親と健太さんの約束 こと。あきらめないこ と」という言葉が印象 に残っている。不撓不 屈の精神で苦しいとき もチーム全員で乗り越 えていく」と誓った。

千坂司書は「毎年5 月、2年生の被災地研 究の時期に合わせて震 災コーナーを開設して いる。震災を知らない 世代に本を通してどう 伝えればいいのか考え ていた。今後も『命を 守ること』として展示 していきたい」と話し ていた。